

Clearaudio Performance DC



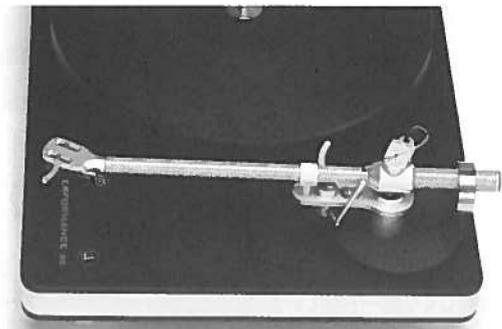
クリアオーディオ Performance DC

¥498,000

[カートリッジ部(クリアオーディオ Virtuoso V2)] ●発電方式:MM型 ●針圧:1.8～2.6g(最適・2.2g) ●出力電圧:3.6mV(5cm/sec、1kHz)
 [トーンアーム部(クリアオーディオ Clarify)] ●型式:スタティックバランス型 ●実効長:239.31mm ●オーバーハング:17.31mm
 [ターンテーブル部] ●駆動方式:ベルトドライブ ●回転数:33・1/3、45、78rpm(回転数微調整可) ●プッタター:40mm厚高密度 POM製(CNC精密表面加工)
 [総合] ●寸法/質量:W420×H130×D330mm / 11.5kg ●備考:ダストカバー付属
 ©ヨシノトレーディング(株) ☎050(3375)3975

Profile

ドイツの老舗アナログブランドのニューモデルは、木質系素材と高分子材料、金属マテリアルを巧みに組み合わせたハイブリッド仕様。ベースキャビネットは、硬い針葉樹系木質材をアルミで挟み込んだもの。メインプッタターは、厚さ40mmの高分子系材料「POM」で、マグネットの反発力を使った吊り下げタイプの同社特許技術「セラミック・マグネット・ベアリング」方式によってフローティング軸受け構造としている。また、高トルクDCモーターはベースキャビネットに固定されているが、取り付けの工夫によって機械的ノイズや振動を遮断している。78回転に対応している点もトビツクた。トーンアームは上級モデルにも採用されたスタティックバランス型のカーボンファイバー製アームチューブ一体型「Clarify」が搭載され、MMカートリッジ「Virtuoso V2」がセットアップされた状態で出荷される。専用ダストカバーが付属。



スタティックバランス型のカーボンファイバー製アームチューブ一体型「Clarify」が付属する。カートリッジの取り付け部分はネジ穴の位置を適宜選択できる優れたもの

カートリッジの個性を的確に表現する高い再現性

クリアオーディオは、カートリッジからトーンアーム、さらにはレコードケア用品まで、幅広い製品ラインナップとカテゴリーでアナログオーディオを全方位的にサポートしているメーカーで、信頼はひじょうに厚い。本機は各部に使われた部材の質と全体のフォルムが醸し出す佇まいから、いい音がしそうだというイメージが湧くアナログプレーヤーで、入門層にも取り組みやすい仕様といえる。

まず、MM/MCとも申し分ない再生音を聴かせてくれたことを記したい。その上で、どちらかというとなりの重たいMC型の方が、内包するポテンシャルを発揮しやすいのではと感じた次第。「メル・トゥーメ」は、なめらかな上にさらにしっとりとした潤いを感じさせる歌唱だ。声が生き生きとしており、ピアノ/ベースに対するヴォーカルの主従関係がサウンドステージの立体感から感じられた。トゥーメの歌の上手さ、シアリングの伴奏の確かさにはしばしば聴き入った。情報量もすこぶる豊富で、笑い声や拍手などの客席の反応が音場をびっしり埋めているのがわかる。しかもそれがたいそう高密度なのだ。

「ローマの松」では、カラフルかつリズムカルにオーケストレーションが乱舞するイメージ。管楽器の音が四方八方に散らばり、全体のハーモニーを一段と鮮やかに彩っている様子が美しく再現された。そうした第1楽章に対し、一転してモノトーン的な陰影感と重厚さに支配される第2楽章の宗教的ムードには、聴いているこちらも静謐な気持ちになった。それでいて弦の響きはたっぷり濃密、しかも艶々とした光沢感まである。こういう再現力は他の機種ではなかった。

MM型で聴いた「ショーティ・ロジャース」では、サクソ等のソロ楽器がやや遠慮がちに前に出てこない。スピーカーより後ろ側に音場が展開する印象だ。平板な印象ではなく、窓越しに景色を見るように奥側へとパースペクティブが広がる感じなのだ。一つ一つの楽器の定位は克明だし、響き自体もナチュラル。リズムセクションのアクセント、ビートもとてもリアルに再現されている。もう少し積極性があってもいいと思ったが、カートリッジで変わってくる範疇だろう。また、シンバルの硬質さがくっきりと再現されたのはよかったが、少々気になったのは、スクラッチノイズが鋭く聞こえたこと。これはプレーヤー(トーンアーム)の感度が相当高いことが推測される(決して悪いことではない)。

「テデスキ・トラックス・バンド」は、リズムがパワフルに響くが、わずかに鈍重な傾向。リズムが重たい感じがする。スライドギターのトーンも明瞭な芯はあるが、若干重たい。一方でスーザンのスモーキーな声はいつそう強調され、擦れ具合が目立つ印象。微細なニュアンスの再現力が高い証拠だ。

使い勝手で難しい部分や高いスキルを要求するところではなく、ひじょうに親しみやすいプレーヤーというのが、この試聴を通しての実感だ。インテグレートッドタイプのトーンアームも、ヘッドシェル部分が一般的なユニバーサルタイプと同様の形状なので、取り付けは面倒でないと思う。また、スタビライザーやインシュレーターなど、様々なアナログアクセサリを駆使すれば、再生音の品位もどんどん上がっていくような手応えを感じた。本機も末長く使えるようなモデルのひとつである。